

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

|          |   | チェック項目  | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など   |
|----------|---|---|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備  | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  |           |     |  |
|          | ② | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |           |     |  |
|          | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | ○  |           |     |  |
| 業務改善     | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか              |    | ○         |     | ケース会議や個別支援計画作成のための会議を密に行っていく。  |
|          | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |           |     |  |
|          | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |           |     |  |
|          | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    |           | ○   | 令和3年度受審予定  |
|          | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |           |     | 法人内外の研修に参加している   |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |           |     | 保護者面談など(年3回)でニーズの把握に努めている  |
|          | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   |    | ○         |     |  |
|          | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |           |     | 音楽療法内のプログラムは音楽療法士が立案している。長期休み中のプログラムは担当職員間で検討し実施している。                      |
|          | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |           |     | 音楽療法内ではその時々に合わせてプログラムを変化させている。   |
|          | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |           |     |  |
|          | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか           | ○  |           |     |  |
|          | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |           |     | 支援員、音楽療法士、職員で打ち合わせを行うようにしている。状況に応じて個別に打ち合わせをするようにしている。                     |
|          | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        |    | ○         |     | その日ごとの振り返りは勤務時間の違いもあり、必ずしも行えているわけではないが、共有すべき事案が発生した際には翌日等に打ち合わせをするようにしている。 |
|          | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | ○  |           |     | 今後更に記録の内容を整え、児の発達の気づきなどを記録し、支援に役立てていくようにする。                                |

|                          |            |  |                                   |   |   |   |
|--------------------------|------------|--|-----------------------------------|---|---|---|
|                          | ⑱          | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | ○                                 |   |   |   |
|                          | ⑲          | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | ○                                 |   |   |   |
|                          | ⑳          | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○                                 |   |   |   |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑          | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○                                 |   |   | 学校ごとに、児についての情報共有の場を設けている。<br>日頃は、送迎などを行っていないため、学校からの連絡などは保護者を通して行なうことが多い。学校との連携を図るための会議などに参加している。 |
|                          | ㉒          | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | ○                                 |   |   | 医療的ケアが必要な児童がいる際には、すぐに保護者と連絡がとれるようにやりとりしている。   |
|                          | ㉓          | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | ○                                 |   |   | 必要に応じてやり取りを行っている。また、相談支援事業所が関わっている児に関しては、モニタリングなどの際に情報共有を行っている。                                   |
|                          | ㉔          | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか        | ○                                 |   |   | 必要に応じて情報共有を行っている。   |
|                          | ㉕          | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○                                 |   |   |   |
|                          | ㉖          | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  |                                   |   | ○ | 管理者及び担当係長が参加  |
|                          | ㉗          | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | ○                                 |   |   |   |
|                          | ㉘          | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○                                 |   |   |   |
|                          | ㉙          | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                       |                                   |   | ○ | ぴっころで直接ペアレント・トレーニング等の講習会や講演会は企画していないが、情報提供は適宜行っている。   |
|                          | 保護者への説明責任等 | ⑳  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ |   |   |
| ㉑                        |            | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○                                 |   |   |   |
| ㉒                        |            | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          | ○                                 |   |   | ・年1回保護者会を開催している。(令和2年度はコロナウイルス感染症予防のため、実施せず、音楽療法の解説動画を作成し公開した)                                    |

|         |    |   |   |   |   |
|---------|----|---|---|---|---|
|         | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか            | ○ |   |   |
|         | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               |   | ○ | タブレット端末を活用し活動の様子を発信していけるよう調整していく。             |
|         | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |   |   |
|         | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |   |   |
|         | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   | ○ | 例年参加している福祉まつりが新型コロナの影響により中止となり、地域住民を招待できなかった。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                |   | ○ | マニュアルの作成はしているが、保護者への周知には至っていない。今後書面などで周知を行う。  |
|         | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ |   | 館内の避難訓練に年1回参加している。曜日ごとに年1回避難訓練を行っている。         |
|         | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ |   | 職員、支援員と共に年1回虐待防止の研修を行っている。                    |
|         | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ |   |   |
|         | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   |   | ○ | 現在、食物アレルギーのある児童はいないが、今後そうした児童がいた場合には対応をしていく。  |
|         | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |   |   |